

## 第1章 策定の背景と計画の位置付け

### ○策定の背景

日々著しく進展するICT(情報通信技術)は、今や生活に不可欠なものとなっており、行政におけるICTの活用は、経済成長や地域課題の解決のための重要な鍵となっている。

一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を機に、「新たな日常」の原動力として、制度や組織の在り方をデジタル化に合わせて変革していく、社会全体のDX(デジタルトランスフォーメーション)が求められている。

国は、「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」(令和2(2020)年12月25日閣議決定)において、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」の推進を示している。

また、このビジョンの実現には、住民に身近な行政を担う自治体、とりわけ市区町村の役割は重要であり、自治体のDXを推進するため「自治体DX推進計画」が策定され、自治体が取り組むべき重点取組事項が示された。

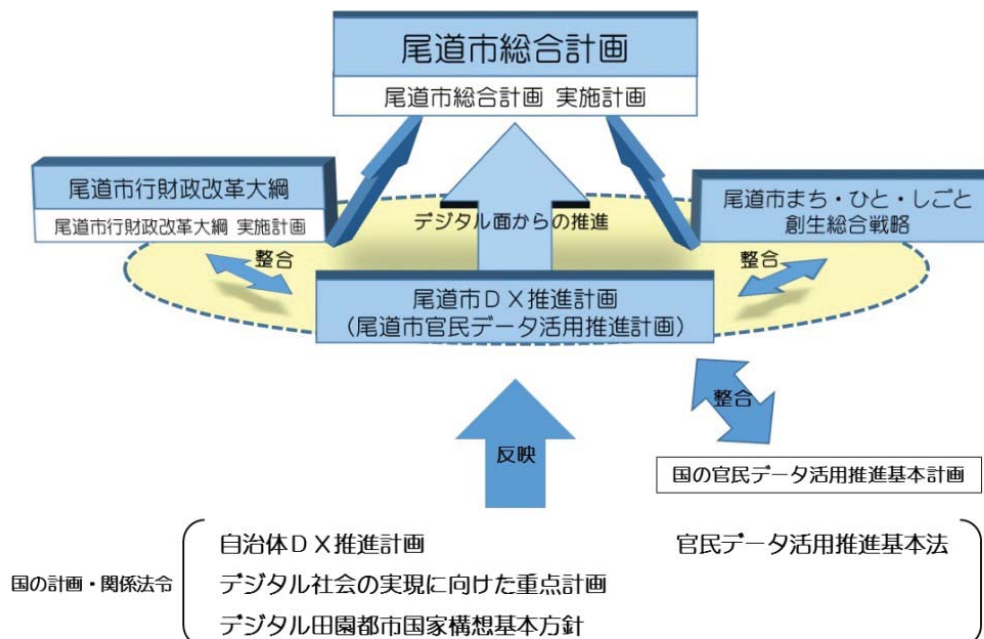
#### 重点取組事項

①自治体の情報システムの標準化・共通化	④自治体のAI・RPAの利用促進
②マイナンバーカードの普及促進	⑤テレワークの推進
③自治体の行政手続のオンライン化	⑥セキュリティ対策の徹底

こうした動向を受け、行政サービスや行政運営のデジタル化、さらには、デジタル技術を活用した地域課題の解決など、自治体におけるデジタル化の推進を遅れることなく着実に実施していくため、本計画を策定するものである。

### ○計画の位置付け

本計画は、最上位計画である「尾道市総合計画」の政策目標を踏まえ策定するものとし、関連する「尾道市まち・ひと・しごと創生総合戦略」「尾道市行財政改革大綱」との整合性を図りつつ、DX推進に関する具体的な取り組み方針を示すものであり、官民データ活用推進基本法第9条第3項に規定される「市町村官民データ活用推進計画」としても位置付ける。



### ○計画期間

計画期間は、令和5年度から令和9年度までの5年間とし、施策を推進するための具体的な個別の事業については、スケジュールを定めてPDCAを徹底した進捗管理を行う。

なお、今後の急速なデジタル技術の進歩、国の動向を注視し、計画の方向性を改める必要が生じたときは、適切に見直しを行う。

## 第2章 目指す姿と取組の基本方針

### ○目指す姿

本計画では、「尾道市総合計画」の都市像である「元気あふれ 人がつながり 安心して暮らせる ～誇れるまち「尾道」～」の実現を目指して、職員が共通認識を持ち、「デジタル技術を効果的に最大限活用することによって、人々の生活をより良い方向へ変化させ、新しい価値を生み出していく」DXを、地域とともに推進する。

### 職員が持つべき共通認識

- 利用者目線 ●人にやさしいデジタル化 ●組織全体での取組
- デジタルファースト(一連の業務を一貫してデジタルで完結させる。)
- EBPM(エビデンス(合理的根拠)に基づき、より実効性の高い政策を立案する。)

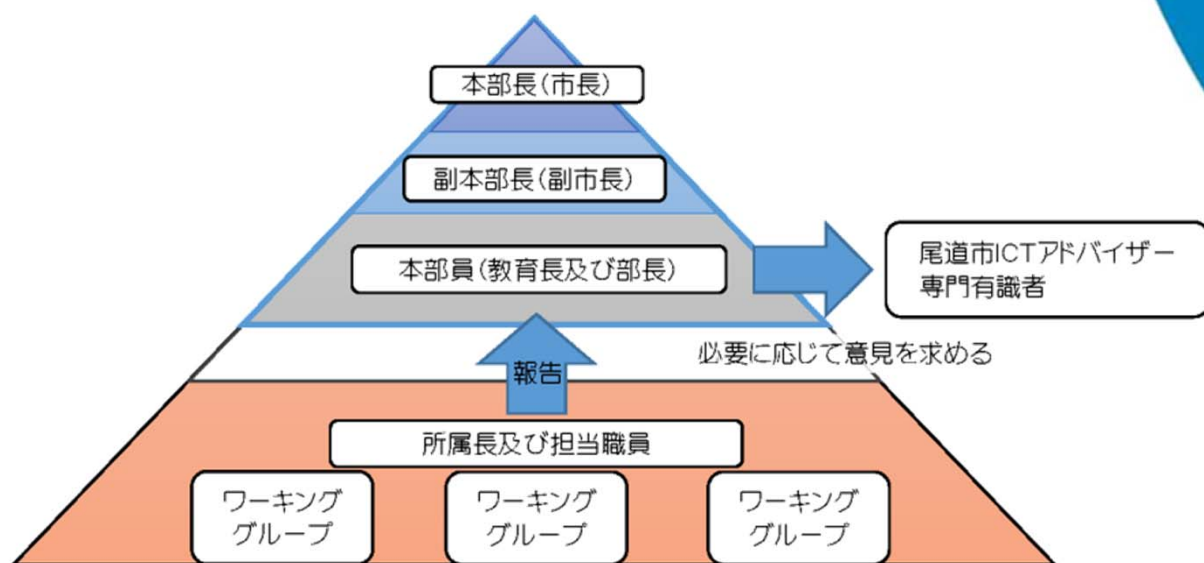
### ○計画の基本方針

デジタル技術やデータの活用によるDX推進の取組と、デジタルを活用して様々な地域課題を解決し、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めるスマートシティの取組により、市民が暮らしやすく、産業、地域が活性化し、人と地域がつながることを目指して、4つの基本方針を定める。

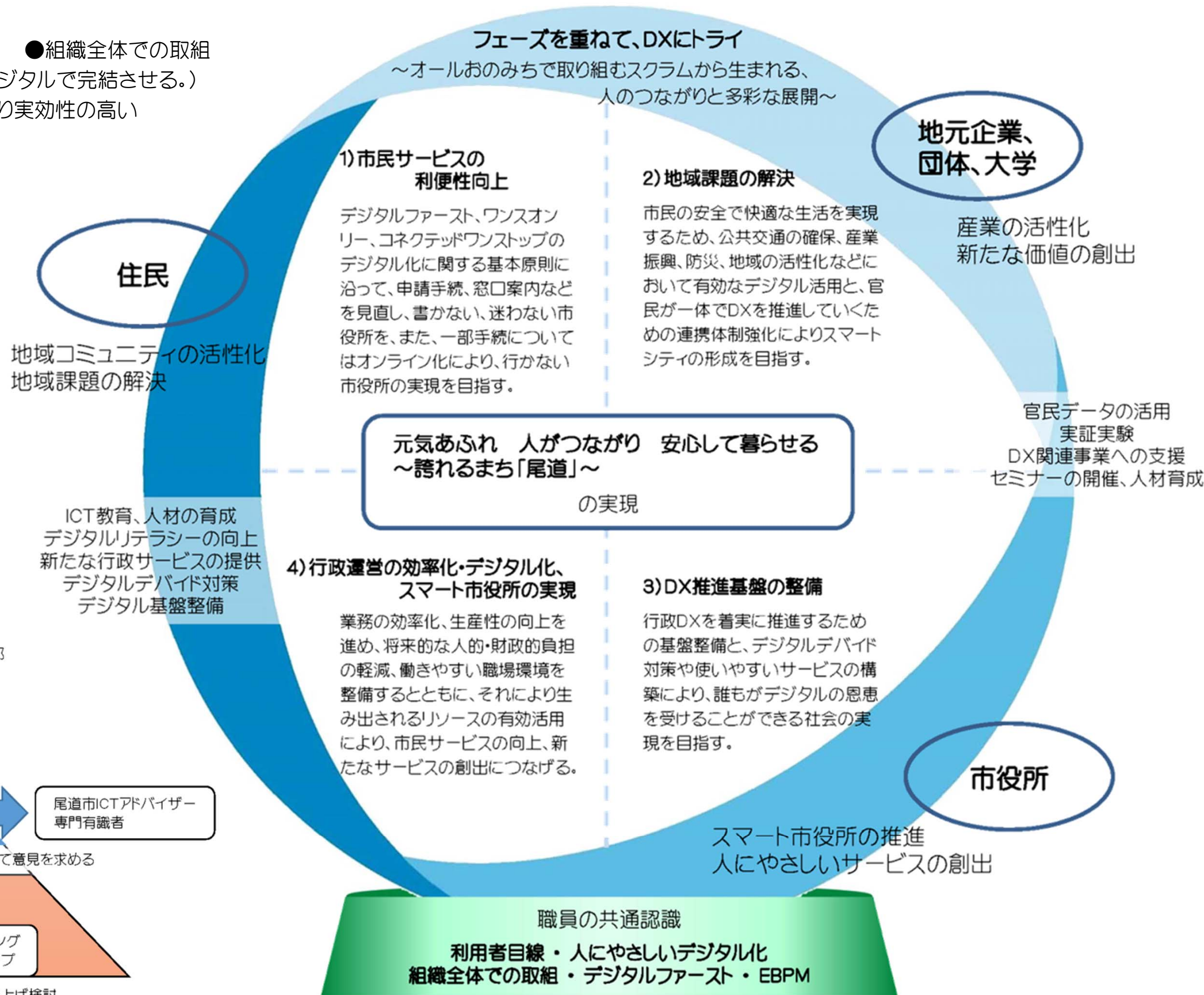
- 1) 市民サービスの利便性向上
- 2) 地域課題の解決
- 3) DX推進基盤の整備
- 4) 行政運営の効率化・デジタル化、スマート市役所の実現

### ○推進体制

尾道市デジタルトランスフォーメーション推進本部



尾道市のDX推進の取組について、ワーキンググループを立ち上げ検討





## ○具体施策

<p>1) 市民サービスの利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○行政手続のオンライン化             <ul style="list-style-type: none"> <li>・来庁しなくてもスマートフォンなどから手続でき、手数料の支払いまでデジタルで完了。</li> <li>・マイナンバーカードを活用し、申請書への氏名の記入や本人確認書類の提出を省略。</li> <li>・離れた場所からでも対面と同様に問合せや相談が可能。</li> </ul> </li> <li>○ニーズに合った多様な情報提供             <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンなどで必要な情報を欲しいときに得られる。</li> <li>・多様な情報伝達手段を用いて幅広く情報が発信される。</li> <li>・タイムリーに自分に関係する情報が届く。</li> <li>・オープンデータにより、来庁や申請の手間なく情報が得られる。</li> </ul> </li> <li>○マイナンバーカードの普及・活用             <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードの活用場面が広がることで、カードの普及を促進。</li> <li>・マイナンバーカードと運転免許証の一体化など、国の施策に対応。</li> </ul> </li> </ul>	<p>2) 地域課題の解決</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域のデジタル化の推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル活用を促進する環境や制度の整備により、市内事業者DX推進を支援。</li> <li>・デジタル企業、人材を誘導。</li> <li>・防災・交通・教育・産業・観光などのさまざまな分野において、デジタルの活用により地域課題を解決。</li> </ul> </li> <li>○データ連携基盤の活用推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集積・分析し、さまざまな施策に活用したまちづくりを推進。</li> <li>・行政、地元企業相互のデータ活用による、新たなサービスの提供。</li> </ul> </li> <li>○産官学の連携強化             <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな組織や人がアイデアやデジタル技術を共有、活用。</li> </ul> </li> </ul>
<p>3) DX推進基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル人材の育成             <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルを業務に活用し、サービス向上や効率化を実現できる人材の育成。</li> <li>・GIGAスクール構想に基づくデジタルを活用した教育環境の整備、ICT教育によるデジタル人材の育成。</li> <li>・住民や民間事業者と連携した研修やセミナーの開催。</li> </ul> </li> <li>○セキュリティ対策             <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウド利用や効率的なデータ利活用のため、脅威に対するセキュリティ対策の徹底</li> </ul> </li> <li>○インフラ整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速化多様化するデジタル活用に対応する環境整備。</li> <li>・リスク回避対策、バックアップ強化など、災害時や事故発生時においても業務継続可能とする強靱な情報インフラの整備。</li> </ul> </li> <li>○デジタルデバйд対策             <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル活用の障壁を取りのぞくことで、デジタルに不慣れな人でも利便性を実感できる。</li> </ul> </li> </ul>	<p>4) 行政運営の効率化・デジタル化、スマート市役所の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○情報システム標準化・共通化への対応             <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の自治体システム標準化・共通化に対応。</li> <li>・システムの共同利用などクラウドサービスの活用を推進。</li> </ul> </li> <li>○データ化・ペーパーレス化             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文書の電子的保存やタブレット端末での会議資料閲覧、決裁事務の電子化などでペーパーレス、業務の効率化を推進。</li> </ul> </li> <li>○BPRの実施とAI・RPAの活用             <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務プロセスを見直し、業務システムやRPAなどのデジタル技術の効果的な活用による業務の自動化・省力化を推進。</li> <li>・職員の負担を軽減し、適切な事務処理の遂行により、信頼される行政サービスを提供。</li> </ul> </li> <li>○働きたい職場環境づくり             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークライフバランスの推進、多様かつ柔軟な働き方を可能にする執務環境の整備。</li> </ul> </li> </ul>

## 第3章 アクションプラン

DX推進の 目指す姿	計画の基本方針	具体施策	アクションプラン
<p>「元気あふれ 人がつながり 安心して暮らせる ～誇れるまち「尾道」～」</p>	<p>1) 市民サービスの 利便性向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政手続のオンライン化</li> <li>○ニーズに合った多様な情報提供</li> <li>○マイナンバーカードの普及・活用</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①マイナポータル、電子申請システム、公共施設予約サービスを 活用した各種手続のオンライン化推進</li> <li>②窓口手続の電子化の取組</li> <li>③電子化された地図情報の公開</li> <li>④チャットボットによる24時間365日の問い合わせ対応</li> <li>⑤リモートによる遠隔地からの相談対応</li> <li>⑥マイナンバーカード取得促進と活用拡大の取組</li> </ol>
	<p>2) 地域課題の解決</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域のデジタル化の推進</li> <li>○データ連携基盤の活用推進</li> <li>○産官学の連携強化</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①デジタルを活用した変革に取り組む事業者支援</li> <li>②センサー、カメラ利用による水害等危険箇所の一括監視</li> <li>③VR・ARやデジタル配信を活用した文化・観光振興、デジタル技術 を活用した展覧会の紹介及び所蔵品の管理、活用の取組</li> <li>④地域におけるデータ利活用の推進</li> <li>⑤交通手段をシームレスにつなぐMaaSの取組</li> </ol>
	<p>3) DX推進基盤の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル人材の育成</li> <li>○セキュリティ対策</li> <li>○インフラ整備</li> <li>○デジタルデバйд対策</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①デジタル人材育成プログラムの構築</li> <li>②GIGAスクール構想に基づく教育環境の整備</li> <li>③効果的なインターネット利用を実現するセキュリティ対策の徹底</li> <li>④公共施設へのWi-Fi整備と地域活動への活用</li> <li>⑤デジタル活用講習会の実施</li> </ol>
	<p>4) 行政運営の効率化・ デジタル化 スマート市役所の 実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報システム標準化・共通化への対応</li> <li>○データ化・ペーパーレス化</li> <li>○BPRの実施とAI・RPAの活用</li> <li>○働きたい職場環境づくり</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①基幹システムの標準化・共通化の対応</li> <li>②戸籍事務内連携による利便性の向上</li> <li>③デジタル技術を活用したペーパーレス化と効率化の取組</li> <li>④AI・RPAを活用した業務の自動化の推進</li> <li>⑤業務調査、分析の手法による業務プロセス改革</li> <li>⑥テレワーク環境の改修によるワークライフバランスの推進</li> </ol>